

# 麦わらすき込み実践マニュアル

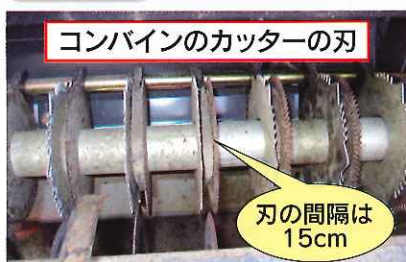
- 麦わらは、**有機物が豊富**に含まれている有機質資材です。麦わらをすき込むことによって、**地力が向上し、生産力向上**につながります。燃やさず、**地力向上・収量アップ**のためにすき込みましょう！

## 麦わらすき込みの手順・ポイント

### 手順1 ● **カッターとドロッパーを切り替えましょう！**

〔麦わらは、バラ落としせず、細断し圃場一面に散布しましょう。〕

### 手順2 ● **コンバインのカッターの調節を行いましょ！**



〔代かき時の浮遊量を減少させるため、麦わらは**15cm以上の「長め」**にカットしましょう。〕

### 手順3 ● **麦わら分解促進のため窒素を添加しましょう！**

〔麦わらすき込み開始後3年間は、麦わら分解のため、**窒素2.5 kg / 10a**を元肥に加える必要があります。〕

### 手順4 ● **深め、早めの耕起とベタかき(極浅水)を行いましょ！**



### 手順5 ● **移植後の水管理を徹底しましょう！**

〔ガスの発生は、移植後4週間でピークを迎えます。このため、**移植後15日、25日**に水の入れかえ(強制落水)を行いましょ。その後は、浅水管理を行い、間断灌水、中干しを行いましょ。〕

お問い合わせは、お近くの 農業改良普及センター、JA等 にご相談下さい。



# 麦わらを燃やしても 雑草は減りません！

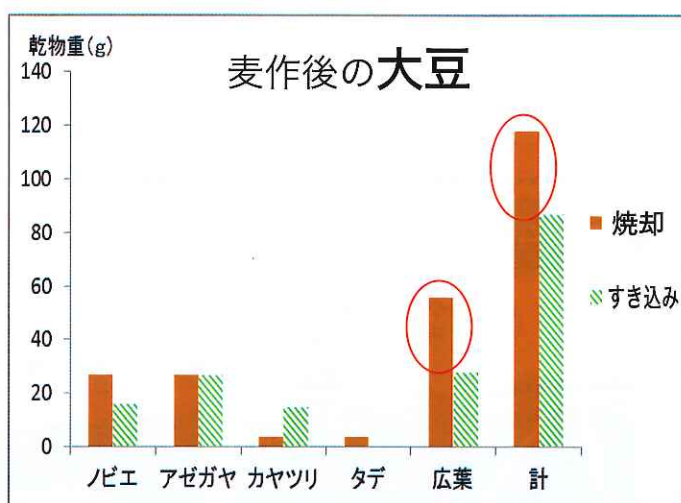
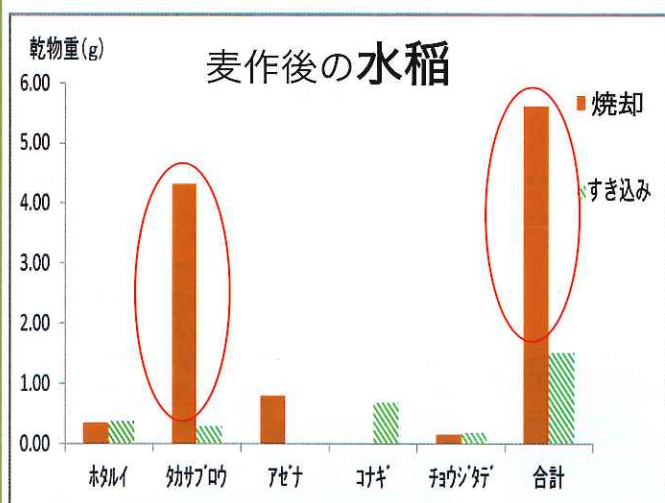


佐賀県稲わら・麦わら適正処理対策会議では、佐賀県農業試験研究センターを中心に、2カ年間現地圃場試験を実施いたしました。

## 現地圃場試験結果

～ 麦わらを焼却した場合とすき込んだ場合を比較してみました！ ～

### 雑草発生に対する影響の比較（平成 23～24 年度平均）



◆ 試験結果によれば、麦わら焼却による雑草の抑制効果は認められませんでした。